① 看護学研究科　2022年度

② 入試区分

看護学研究科博士後期（Ⅱ期）

③ 出題科目

専門科目

④ 出題の意図

看護領域の倫理および看護実践における理論の活用は重要な課題である。これら2つの設問によって論理的思考力、分析力、創造性および表現力を総合的に評価する。

解答例

問１：iPS 細胞研究の進展を理解したうえで、看護領域の視点から倫理的課題を適切に捉えているかを評価する。具体的には、患者の安全性、インフォームドコンセント、個人情報・遺伝情報の保護、研究参加者の権利尊重、生命倫理（生命の扱い、細胞操作の倫理的妥当性）などへの言及があるか、また、看護職として患者の尊厳を守る態度や倫理的判断の重要性を述べているか、研究者としての責任や社会的影響への配慮が示されているかを重視する。内容の論理性と表現の明確さも評価対象とする。

問２：「看護に理論が必要とされる理由」を理解し、そのうえで自らの実践・研究経験と結び付けて論理的に述べているかを評価する。特定の理論を活用した場合は、どの理論をどのように用い、なぜ有効であったのかを具体的に説明できているかが重要である。活用していない場合も、理由が明確で、課題認識や今後の学習意欲が示されているかを確認する。また、理論と実践・研究の関係性を理解しているか、文章構成や表現の明瞭さ、根拠に基づく考察ができているかを総合的に評価する。

令和４年度 徳島文理大学大学院看護学研究科 博士後期課程（Ⅱ期 ）入学試験 問題用紙
令和４年２月５日（土）

試験科目：専門科目

受験番号		氏名		領域	

以下の問題に答えなさい。解答は解答用紙に記入しなさい。

問１： iPS 細胞（人工多能性幹細胞）が 2006 年に発見されてから 15 年以上が経ち、今や基礎研究、再生医療、創薬の各分野で熾烈な実験・研究が進んでいます。この問題を看護領域の研究者を目指すあなたは、倫理面からどう捉えますか。

問２:「看護実践には何らかの理論が必要である」と言われて久しいですが、あなたは実践・研究において、何か特定の理論を活用してきましたか。あればその理由を、ない場合もその理由を述べなさい。

令和 4 年度 徳島文理大学大学院看護学研究科 博士後期課程（Ⅱ期 ）入学試験 解答用紙
令和 4 年 2 月 5 日（土）

試験科目：専門科目

受験番号		氏名		領域	

問 1.

令和 4 年度 徳島文理大学大学院看護学研究科 博士後期課程（Ⅱ期 ）入学試験 解答用紙
令和 4 年 2 月 5 日（土）

試験科目：専門科目

受験番号		氏名		領域	

問 2.